

デジタル田園都市国家構想交付金・地方創生推進タイプ 交付対象事業
「新時代ヘルスケア推進事業」の実施に係る意見募集／意見の概要と本市の考え方

No.	分類	意見の概要	本市の考え方
1	用語について	(新時代ヘルスケア・パブリック) 初めて聞くことばなので、あまり理解できません。	用語を含め、事業の内容を市民の皆さまにご理解いただくようさらに分かりやすい説明を心がけてまいります。
2	安全性について	マイナンバーカードと同じ不安を持ちました。今までも年一回の特定健診があり、問題があれば行動変容をうながしてきたはずですが、むしろ問題は、医師、看護師、介護士等の人材不足にあると思っています。人を育てる事、そして延岡で仕事が出るようにする事が大切だと思います。マイナンバーカードが導入され、かかりつけ医が、廃業するのではないかと不安でならないのです。	今回の事業は、多忙などのため特定健診をなかなか定期的に受けておられない方や、健康上の問題があるかどうか分からない方、さらには健康への関心が薄い方などにも健康に関する意識・行動を高めてもらうという趣旨を持った事業となっております。 今回の事業ではマイナンバーカードを用いることはありませんが、皆さまの不安を払拭できるように努めてまいりたいと思います。また、マイナンバーカードの健康保険証としての利用に関しては、病院や診療所に対して国が補助金制度を設けるなどの支援策を講じておりますので、廃業等にはつながらないものと考えております。 また、医師・看護師・介護士等の人材確保については、延岡市においても県や延岡市医師会等と連携しながら様々な取り組みを行っており、今後も人材確保に向けた取り組みを鋭意進めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。
3	アプリの利用について	P2-のべおかコインとアプリありきの所が気になります。使わない人に対する措置は？(使いたくない人もいるはずですが) 行きたくても行けない人もいますはずですが、その人達に対する方法は？どうしますか？	この事業については参加を強制するものではありませんので、のべおかCOIN等を使いたくない方に対する措置というものは特にはありませんが、一方で、例えば忙しくて健診等を受けていないという方などに、もっと健診を受けてもらい、健康への意識を高め行動してもらことで、ご本人にとっても市全体にとってもプラスになることをめざしたいと考えております。 また、イベント等に行きたくても行けない方については、市内各地でイベントを開催する考えですので、少しでも参加しやすくするよう努めてまいります。また、参加者に対してアプリの登録支援も行うことを予定していますので、できるだけ多くの方に参加していただく機会を作ってまいります。
4	KPIについて	P8- (KPI) この値はどこからでてきたものですか？具体的に書かれていないのでわかりづらいです。	KPIは、本事業の成果目標として定めており、それぞれ事業開始前の令和4年度からどのような変化を目標としているかを記載しています。たとえばKPI①(市民の満足度を高め、転出(社会減)による人口減少を抑制します。)では、比較対象の基準の年度となる令和4年度において、延岡市の人口は614人の社会減(市外への転出者から市内に転入した者を引いた数)でした。これを、この事業を進め地域コミュニティなどを活性化させることにより、20名ずつ減らしていくことを目標としているものです。
5	安全性について	P6-問題が起きた時の万全の措置とはどんなものでしょうか？マイナンバーの問題等あり不安です。	ご質問があった箇所は「分析ツールは延岡市役所内に設置することで、個人情報の漏洩が発生しないよう、万全の措置を行います。」というところを指しておられると思いますが、まず医療等のデータについては、市役所外にはデータを持ち出さないこととしますので、紛失等による漏洩の問題が生じないようにするところです。また、連携している国立循環器病研究センターなどにデータを提供する場合にも、厳格な基準で国から認定を受けた事業者によってデータを匿名にして、個人を特定できないように処理したうえで提供し、分析に使ってもらうことにしています。このように、情報漏洩の可能性を徹底的になくす対策を行っていく所存です。